

県ジュニア学童野球選手権 試合規定

1. 選手登録・チーム登録について

- (1)選手は、小学生1～5年生(平成28年度)25名まで登録可能。
- (2)平成30年度全日本軟式野球連盟登録予定のチーム構成であること。

2. 大会・試合規定

1. 野球競技区画線(学童部)塁間23m、投手間16m、固定ベースで行います。
試合球は公式C号球(トップボール)で行います。
2. 試合予定時刻60分前には、会場入りしてメンバー表交換に備えてください。
3. ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とします。
4. シートノックは行いません。
5. ベンチに入れる人員は、代表責任者1名(成人)・監督1名(成人)・コーチ2名(成人)・スコアラー(小学生可)・登録選手25名以内とする。ただし21人目以降の背番号・統一ユニフォームを所有していないクラブは、選手20名以外に別ユニフォームにて5選手がベンチ入り可能。しかし、その5選手には試合出場権は与えない。※成人とは、18歳以上と定める。(学生除く)
6. 大会取決め事項
予選トーナメントは全試合7回戦。3回以降10点差、5回以降7点差でコールドゲーム成立とする。
①全試合7回戦90分制。80分を超えて次のインングに入らない。
※リードしている後攻チームが攻撃中に90分を超えた場合は、そこで試合終了とする。
②3回以降10点差、5回以降7点差でコールドゲーム成立とする。
③投手の投球制限は採用しない。
④延長は、8回から特別延長戦(1死満塁継続打順)を実施して勝敗を決する。ただし、特別延長戦は最大2インングまでとし、それでも勝敗が決しない場合は、最終メンバーで抽選を行い、勝敗を決する。90分を超えて同点の場合は、抽選を採用して勝敗を決定する。
⑤決勝戦・3位決定戦も同様とする。
⑥次の試合の先発バッテリー・指導者1名のみ、メンバー表交換後、ブルペン入りできる。ただし試合中のクラブに優先権があるため、妨げにならないよう指導者の責任において行うこと。
⑦ドーム内での練習はできません。周辺の敷地にてアップ等を行ってください。ただし施設に破損を与えた場合は、該当クラブで処理すること。
7. ユニフォーム・スパイクは、必ずチームで統一したものにしてください。監督・コーチもユニフォーム・スパイク(同色であればトレーニングシューズも可)を必ず着用してください。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。
8. 試合前のベンチ前練習には、監督・コーチ・選手のユニフォーム着用者以外は参加することはできない。また代表者・スコアラーは試合中にグラウンドに出ることはできない。
9. スタンド・応援席は「応援」をする場所です。相手チーム・審判への、野次や罵声は控えて観戦・応援をしてください。
10. 試合規定項目以外については、2017年公認野球規則・競技者必携及び試合前の審判からの取決め事項を準用する。

3. 天井に打球が当たった場合の処理について

落下地点でフェア・ファールの判断をする。内野フェアゾーンで落下して、その後に内野ファールゾーンに出た場合はファールとする。落下地点がファールからフェアに入った打球はファールとする。またサイドのファールゾーンネットに当たった場合はファールとする。また弘前克雪ドームのみ、外野ネットに直接当たった打球については2塁打として、エンタイトル2ベースと同様の扱いとする。

4. 応援について

弘前克雪ドーム・ひらか楽天ドームの保護者による応援についてはメガホンのみとする。

また、弘前克雪ドームの保護者による応援・観覧は外野ネット後方とする。内野・外野ファールゾーンのネット側での応援は禁止とする。

5. 大会本部より

また指導者は大会規約に関して熟読して頂き、試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせていただきます。